

No.111「木材などを使用したボード Version2.0」

No.115「間伐材、再・未利用木材を使用した製品 Version2.0」

認定基準公開案 Version1.0 からの主要な見直し箇所の概要

1. 対象について

- ・ No.115「間伐材、再・未利用木材を使用した製品 Version2.0」
- = > 機能としての商品類型が設定されたものは該当の商品類型で扱う。
新たな商品類型：家具、文具・紙製品、日用品、土木用製品

2. 用語の定義 / 再・未利用木材の定義の明確化と範囲の拡大

- ・ 別紙

3. 環境に関する基準のポイント

3.1 処方構成成分の報告

- ・ 接着剤、添加剤、化粧加工などの重量割合と処方構成成分の報告
- ・ ハロゲン化合物の添加の禁止

3.2 VOCの放散（裏面）

- ・ ホルムアルデヒド 最上等級のF に。
- ・ トルエン・キシレン 使用の禁止、または製品出荷時に放散が検出されないこと。
- ・ その他のVOC、TVOCについては、解説に記載

3.3 塗料（製品に含まれる重金属への配慮）

- ・ 費用のかかる試験を廃止して、重金属の含有については使用する塗料において制限

3.4 木材保存剤

- ・ 屋外製品に限り、使用を認める。(社)日本木材保存協会の認定薬剤であること。
ただし、スピード98に掲載の薬剤およびクレオソート油を含む薬剤は使用の禁止。

3.5 使用者への情報提供（商品に関するマニュアル）

4. 下段表示

- ・ 別紙

5. No.115商品類型名の変更

- 「廃木材・間伐材・小径材などを使用した木製品」
- = > 「間伐材、再・未利用材を使用した製品Version2.0」へ

参考1：VOCの放散

- 平成15年1月 JIS A1901（建築材料の揮発性有機化合物(VOC)、ホルムアルデヒド及び他のカルボニル化合物放散測定法 - 小形チャンバー法）制定
=>ホルムアルデヒド以外のVOCの放散に関しても測定可能に
- 平成15年3月 シックハウス対策に関し、関連のJIS、JAS改正 / F の導入
- 平成15年7月 シックハウス対策に関する改正建築基準法 完全施行

Ver.2.0
Ver.1.0

建築材料の等級	旧基準		新基準	ホルムアルデヒド放散量または速度		使用制限 (換気回数0.5~0.7回/hの時)
	JIS	JAS	JIS・JAS (共通化)	デシケーター法 (平均値)	小型チャンバー法 (JIS A1901)	
規制対象外			F	0.3mg/l以下	5 µg/(m ² ・h)以下	面積制限なし
第三種	E0	FC0	F	0.5mg/l以下	20 µg/(m ² ・h)以下	床面積の2倍まで
第二種	E1	FC1	F	1.5mg/l以下	120 µg/(m ² ・h)以下	床面積の0.3倍まで
第一種	E2	FC2		5.0mg/l以下	120 µg/(m ² ・h)超	内装仕上げ材などに使用できない

参考2：厚生労働省 室内室内濃度指針値

揮発性有機化合物	毒性指標**	室内濃度指針値***
アセトアルデヒド	ラットの経気道暴露における鼻腔嗅覚上皮への影響	48 µg/m ³ (0.03ppm)
フェノカルブ	ラットの経口暴露におけるコリンエステラーゼ活性などへの影響 ³⁾	33 µg/m ³ (3.8ppb)
ホルムアルデヒド	ヒト吸入暴露における鼻咽頭粘膜への刺激	100 µg/m ³ (0.08ppm)
トルエン	ヒト吸入暴露における神経行動機能及び生殖発生への影響	260 µg/m ³ (0.07ppm)
キシレン	妊娠ラット吸入暴露における出生児の中樞神経系発達への影響	870 µg/m ³ (0.20ppm)
パラジクロロベンゼン	ビーグル犬経口暴露における肝臓及び腎臓等への影響	240 µg/m ³ (0.04ppm)
エチルベンゼン	マウス及びラット吸入暴露における肝臓及び腎臓への影響 ^{13),14)}	3800 µg/m ³ (0.88ppm)
スチレン	ラット吸入暴露における脳や肝臓への影響 ^{15),16)}	220 µg/m ³ (0.05ppm)
クロルピリホス	母ラット経口暴露における新生児の神経発達への影響及び新生児脳への形態学的影響 ¹⁷⁾	1 µg/m ³ (0.07ppb)但し小児の場合は0.1 µg/m ³ (0.007ppb)
フタル酸ジ-n-ブチル	母ラット経口暴露における新生児の生殖器の構造異常等の影響 ¹⁸⁾	220 µg/m ³ (0.02ppm)
テトラデカン	C8-C16 混合物のラット経口暴露における肝臓への影響 ¹⁹⁾	330 µg/m ³ (0.04ppm)
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	ラット経口暴露における精巢への病理組織学的影響 ^{20),21)}	120 µg/m ³ (7.6ppb)注1
ダイアジノン	ラット吸入暴露における血漿及び赤血球コリンエステラーゼ活性への影響 ²²⁾	0.29 µg/m ³ (0.02ppb)
総揮発性有機化合物量(TVOC)	国内の室内 VOC 実態調査の結果から、合理的に達成可能な限り低い範囲で決定 ^{23),24)}	暫定目標値400 µg/m ³

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2002/02/h0208-3.html>

シックハウス（室内空気汚染）問題に関する検討会中間報告書 - 第8回～第9回のまとめについて